

光市医師会報

平成元年 7月号

No. 201



送り梅雨

光市医師会

平成元年度の事業計画概要

6月度理事会で下記のように具体案を決める。

- | | |
|--|--|
| <p>1) 月 例 会……………毎月1回</p> <p>2) 夕 食 付 月 例 会……………3月</p> <p>3) 臨時総会(役員選挙) } 同時に行なう
 新 年 互 礼 会 } ……………1月</p> <p>4) 理 事 会……………毎月1回</p> <p>5) 周 南 三 市 役 員 会……………11月</p> <p>6) 下松医師会と合同理事会……………7月</p> <p>7) 光 三 師 会 役 員 会……………7月</p> <p>8) 学 術 研 究 会……………8月</p> | <p>9) 心 電 図 勉 強 会……………毎月1回</p> <p>10) 光市学校保健会総会……………6月</p> <p>11) 光市学校医研修会……………12月</p> <p>12) 納 涼 懇 親 会 } 同時に行なう
 従 業 員 と の 親 睦 会 } ……………8月</p> <p>13) 会 員 親 睦 旅 行……………11月</p> <p>14) 忘 年 会……………12月</p> <p>15) 麻 葉 研 修 会……………10月</p> <p>16) 各 部 会……………適宜</p> <p>17) 光市三師会親睦会……………10月</p> <p>18) 医 師 会 報……………毎月1回</p> |
|--|--|

医 師 会 月 間 行 事

平成元年6月度理事会

6月13日(火) 午後7時30分～

光市医師会館

出席者：竹中会長、福本副会長、富恵・赤崎・近藤・梅田・藤原・吉村各理事

議 題 (報告・協議事項)

- 1) 平成元年度の事業計画の概要について
(竹中会長)
- 2) 光市医師会表彰規則について
(福本副会長)
永年勤続が20年以上の場合は特に成文化せず、該当者があった時に理事会でその都度決定する。
- 3) 周南地区有床診療所協議会の報告
(近藤理事)
- 4) 保険担当理事協議会の報告(近藤理事)

5) 労災・自賠責担当理事協議会の報告

(近藤理事)

6) 光市医師会諸行事について(梅田理事)

7) そ の 他

イ) 光市三師会役員名簿、平成元年度の行事、役員会の件

ロ) 光市医師会規則集の件

ハ) 総合防災訓練の謝礼の件

ニ) 夜間診療の件(1月～3月のまとめ)

ホ) 県医師会よりファックス設置状況の件

ヘ) 光市役所との予防接種・健康診査等の税に関する契約書の件

ト) 基金予金整理の件

チ) 郡市医師会における討議依頼の件
光市医師会に対して、「これからの医師税制について何を望むか」というテーマで討議するよう依頼がある。討議方法を検討した結果、少数の会

員による懇談形式がよいのではない
かとの結論を得る。

平成元年度6月度例会

6月20日(火) 研修会終了後～
ホテル松原屋

議 題 (報告・協議事項)

- 1) 夜間診療患者調査まとめ(福本副会長)
- 2) 周南地区有床診療所協議会の報告
(近藤理事)
- 3) 保険担当理事協議会の報告(近藤理事)
- 4) 労災・自賠責担当理事協議会の報告
(近藤理事)
- 5) 従業員レクリエーションについて
(梅田理事)

親睦納涼懇親会をかねて行なう。

8月12日(出)開催予定

- 6) 光市医師会員の親睦旅行について
(梅田理事)

11月11日・12日挙行の予定

7) そ の 他

- イ) 自賠責医療トラブル事例の提出について
- ロ) 山口県対ガン協会の会費の件
- ハ) 平成元年度がん征圧月間における検診事業への協力について(皮膚がん)
- ニ) 医師年金制度普及推進運動について
- ホ) 郡市医師会における討議依頼について

心電図研究会(第12回)

下松・光市医師会合同

6月16日(金) 午後7時30分～

光市立病院講義室

演 題 「心電図の読み方」

講 師 徳山中央病院 河野隆任先生
症例——心筋梗塞 2例

研修会(学術講演会)

6月20日(火) 午後7時～
ホテル松原屋

演 題 「救急蘇生について」

講 師 山口大学附属病院
救急部助教授 前川剛志先生



聴講者が多数で、非常に熱気につつまれた勉強会でした。ちなみに聴講者数は、149名(医師27名、医療関係者93名、学校関係者5名、消防関係者21名、その他3名)でした。

光市・県医師会関連行事等出席

- 1) 郡市医住民保健担当理事協議会
富恵理事出席 6月15日 県医師会館
- 2) 平成元年度山口県学校保健連合会理事

会

福本副会長出席 6月15日 山口県庁

3) 郡市医理事紛争担当理事協議会

丸岩理事出席 6月15日 県医師会館

4) 郡市医労災・自賠責担当理事協議会

近藤理事出席 6月1日 県医師会館

5) 郡市医生涯教育担当理事協議会

赤崎理事出席 6月22日 県医師会館

6) 郡市医学校保健担当理事協議会

福本副会長出席 6月22日 県医師会館

7) 周南地区薬物乱用防止対策推進会議

丸岩理事出席 6月29日 徳山保健所

8) 平成元年度光市安全会議定期総会

秦事務員出席 6月7日 光市立図書館

平成元年度光市学校保健会総会

6月29日(木) 午後1時30分～

保健センター

(協議事項)

- 1) 昭和63年度事業報告および決算報告
- 2) 役員改選について
- 3) 平成元年度事業計画(案)および予算(案)
- 4) その他

(講演) 学校医の立場として(今年度の
定期検診を終えて気付いたこと)

医師会・歯科医師会

- 1) 耳鼻科校医 前田昇一先生
- 2) 眼科校医 中村国雄先生
- 3) 歯科校医 守田忠正先生
- 4) 内科校医 福本壽雄先生

バタフライ

市川 晃

今年も、蝶の季節がやってきた。

かなり前のことだが、新日鉄の渡辺先生の社宅に伺ったことがある。先生は有名な蝶のコレクターであり、その方面には造詣が深く、1度そのコレクションを見せていただきたいと願っていたところ、快く声をかけて下さった。整然と並べられた膨大な標本の中から、いくつか秘蔵の標本を出して、あれこれそれにまつわる話など聞かせて下さった。その間、隣の部屋からオペラのエリアのようなのが朗々と絶え間なく流れていて、よほどオペラ好きなんだなあと考えた。それは、最近、週刊紙や新聞に出ている日本のホープ・若手オペラ歌手で、先生の愛娘であることを全くその時は知らないものだから、「イタリアにいる娘です」と奥さんが説明して下さいても、「フーン」という調子で、次のセリフが出てこなかった。

帰りに、まだ展翅してない外国産の蝶で三角形のハトロン紙に包まれたのを、子供にどうぞと言われた。うまく広げられないからと遠慮したが、先生は、蒸気をあてながら注意深くやればうまくできると、親切に説明して下さいました。結局、いまだに、ハトロン紙の中で羽をたたんだままである。

翌年の早春、渡辺先生御夫妻が、どっかへ採集に行かれた帰りに立ち寄られ、ギフチョウの蛹をいくつか下さった。自然界はまだ肌寒い早春なのに、その頃は医院の3階に住んでいて暖房をたっぷりかしてい

たためか、よほど環境が悪かったのだろう。部屋の中で羽化した蝶は見るも無残な姿で、羽の先が波うって伸びきらず、バランスがとれないので歩くこともできず、砂糖水など与えたがろくに飲まないで、すぐに昇天してしまった。5～6匹かえた中で、まともなのは1匹だけだった。3階の部屋の窓から飛ばしたのを覚えている。本当に、かわいそうなことをしたものだ。

渡辺先生のお宅をまねたわけではないが、土のある住居に移ってからは、スマレなど植えて、ツマグロヒョウモンをかえたことがある。1度、ツマグロが飛来したところを見かけたことがあるので、食草をたっぷり用意すれば、卵を産むだろうと思ったからだ。毛虫を見つけた時は、うれしかった。夏のかかりになるとスマレが終わるので、毛虫を1ヶ所に集めて、できるだけスマレを移植し、食卓用の「はいらず」をかぶせて脱走を防いだ。金色のツブツブをつけた蛹がぶらさがると、羽化の瞬間を見たくて、幾度ものぞきこむ。しかし、わずかな隙間から、いつの間にか、羽化したヤツが逃げてしまうことが多かった。1組のペアを残してあとは無罪放免とし、そのペアをはいらずに閉じこめて養殖したところ、首尾は上乘だった。子供の夏休みの宿題をやっているみたいだと、家の者にひやかされたものだ。

私は展翅をしない、標本は作らない。神のつくり給うた美を楽しむだけだ。飛んでいる姿、静止している姿……。

石鎚山に登った時、下の谷から次々に湧いてくるガスの中からあらわれて、斜面の花畑でたわむれ、また消えていく数十匹の

アサギマダラを見た時の感動は、言葉で表現できない。何年か先に、私が同じ道を歩くことができたとしても、再びあの光景に出会うことができるだろうか……。

告知版

お知らせ①

いよいよ、医師会「サマーフェスティバル」の日が近づいてきました。なるべく皆さんに楽しんでもらいたいと思い、寄附集めに東奔西走しております。寄附を特別たくさん頂戴した医療関係のセールスの方に、招待状を出しました。どうぞ、皆さん、いつもの労をねぎらって、サービスよろしく願いいたします。では、当日、会場でお待ちしております。

お知らせ②

旅行計画は、現在、各旅行社より第1案がきておりますが、帯に短したすきに長しです。また、御報告します。貯金よろしく願います。さらに、奥方も、くどいておいて下さい。

会員福祉担当

第6回光医歯会ゴルフコンペ

6月4日 於周南CC

Name	Out	In	Gross	HD	Net	Order
竹中	54	48	102	24	78	6位
藤村	45	42	87	10	77	3位
守田	47	42	89	13	76	2位
前田	48	50	98	17	81	7位
光武	43	46	89	12	77	4位
森本	46	45	91	14	77	5位
平田	43	39	82	18	64	優勝
佃	68	69	137	36	101	8位

※平田先生がホールインワンをされました。

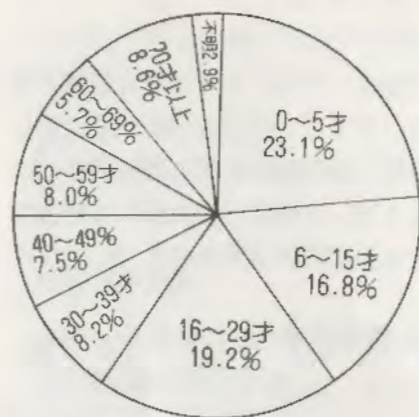
◇ 光市夜間診療患者調査結果 ◇

(平成元年1月～3月まで3ヵ月分)

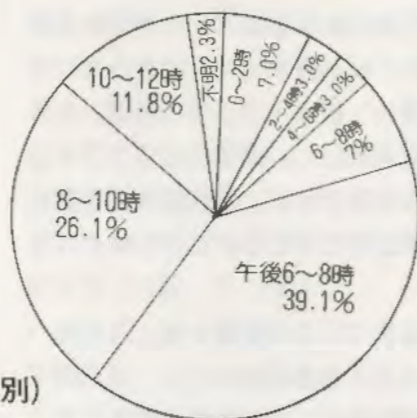
医療機関	1月	2月	3月	計	1月平均	1日平均
光市立病院	243	177	227	647	215.7	7.2
市内の医療機関	242	175	220	637	212.3	7.1
計	485	352	447	1,284	428.0	14.3

(調査医療機関……………26カ所)

(年齢別)

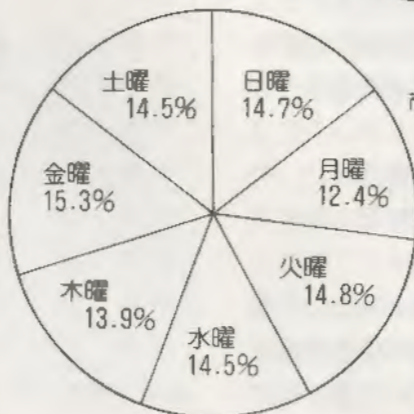


(時間別)

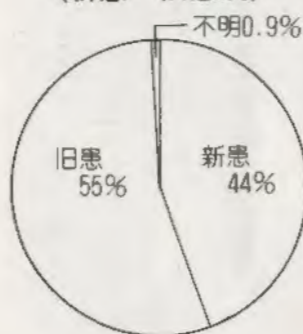


午前

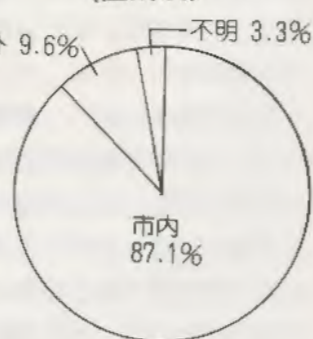
(曜日別)



(新患・旧患別)



(住所別)



ま と め

平成元年1月より3月まで3ヵ月間、夜間診療（午後6時～午前8時まで）の患者調査を光市内の医療機関26ヵ所で行なった。

その結果によれば、次のようになっている。

- (1) 光市立病院の夜間診療患者と、光市内の医療機関の夜間診療患者の数は、毎月ほぼ同数であった。
- (2) 受診者の年齢においては、15才以下が約40%を占めており、70才以上も約9%もいたことは注目を要する。
- (3) 受診の時間帯においては、やはり午後6～8時が最も多く、次いで8～10時、10～12時の順であった。光市立病院においては、午前0～2時の間がやや多いのが気になる点である。
- (4) 曜日別においては、あまり有意の差は認められなかった。
- (5) 患者の住所は、ほとんどが市内の患者であったが、市内の医療機関では、市外の患者がやや多くみられた。
- (6) 新患(初診)・旧患(再診)の患者は、

光市立病院と市内医療機関とでは、あまり有意の差は認められなかった。

- (7) 患者の転送については、あまり多くはなかったが、3月の光市立病院の患者の25%が入院されていた。
- (8) 患者の主症状では、発熱・熱性痙攣が多く、次いで呼吸器的疾患・消化器的疾患が多く、それに次いで外科的疾患が多かった。
- (9) 転送した患者の病名(主症状)をみても、脳梗塞2・クモ膜下出血2・脳出血1・心筋梗塞1・心不全1等、かなりの重症例もあった。

＝ 問 題 点 ＝

- (1) 乳幼児(子供)の発熱患者が多い。
- (2) 受診時間帯においては、午後6～10時までが66%を占めているが、午前0～4時まで約10%もいた。
- (3) この調査で病気の重症度は不明であるが、転送した患者の症状病名をみても、かなりの重症であろうと思われる患者がいるようである。



＝ 編 集 後 記 ＝

うっとうしい空模様が続きます。体にまでカビが生えそうです。はじめしてカビが生えやすい時期なので霪雨と云ったのだとか、梅の実が熟す頃に降る雨なので梅雨と呼ぶのだとか、いろいろ説があるようです。

梅の実といえばすぐ浮んでくるのが梅干しです。おなかの具合が悪い時など「消化の良い食べ物にして下さい」「じゃあ、お粥と梅干しにしましょう」何処でも聞かれる会話です。安政の頃にコレラが大流行した時、こぞって梅干しを食べたそうです。江戸時代の人が梅に含まれるクエン酸に殺菌作用がある事を知らなかったでしょうから、生活の知恵な

のでしょうか。日の丸弁当が大変ご馳走であった頃少年時代を過ごしたせいでしょうか。梅干しに淡い郷愁をおぼえます。

今月は市川先生に原稿をいただきましたが、比較的大柄な先生と小さな蝶の組み合わせから、ほほえましい情景が目につかびます。

6月号に「医師会月間行事」が、「年間行事」と間違っておりました訂正致します。

この号が出る頃は炎暑が続いていると思います。梅干しでも食べて、おなかの調子をととのえておきたいものです。

(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社